

令和6年度 学校図書館活用計画・評価シート

足立区立江北桜中学校 校長 金子 哲朗

1 学校教育目標

人間尊重の精神を基調とし、広い視野を持ち、夢を追いかけ、未来にはばたく人間の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

・自ら学ぶ人 ・協力しあう人 ・健やかな人

2 現状の学校図書館の課題

- ① 継続的に、蔵書を充実させること。
- ② 教科・学年での活用の一層の充実。

3 今年度の学校図書館の重点目標

- ① 全校での読書活動推進を目指し、学校図書館の利用率を一層高める。
- ② 生徒個人の利用だけでなく、教科・学年での活用機会を増やす。
- ③ 学習や探求的活動に役立てられるよう蔵書を充実する。

4 今年度の重点的な取組

上記①～③に対して、

- ① 図書だより等でのPR、図書室の環境整備。
- ② 関連図書の各学級への貸出やコーナー展示。教科担当者と学校司書との連携。
- ③ 新着図書展示会への参加などから、活用しやすい図書情報を得る。

5 教科等における年間指導計画（対象学年は○数字で記載）

教科	内容（学校図書館の図書や資料を活用して取り組む単元等）
国語	①～③読書生活を豊かに（読書感想文の指導を含めて）
社会	①世界の国調べ
学級活動	①～③学校行事の事前学習（宿泊行事、校外学習を中心に）
総合的な学習	①～③調べる学習コンクールの取組
総合的な学習	①②職業調べ（職場訪問・職場体験に向けた学習）

実践の評価

○2年英語を図書館の資料で学習した。実際の英語の文章に触れて、夏休みの課題のブックレポートを完成させることを実施。様々な英語の資料を閲覧することにより学習意欲を高めることができた。

6 図書館運営計画

(1) 日常的な取り組み

①学級文庫の設置 ②朝読書の実施（毎日）

(2) 主な行事等の取り組み

①宿泊行事・校外活動の事前学習支援 ②長期休業前の特別貸出 ③季節行事に関連した装飾

(3) 図書委員会などの取り組み

①図書だよりなどの広報によるPR ②本の紹介を年3回以上
③季節行事と連携して特別しおりやブックカバーを作成

(4) 環境整備の取り組み

①蔵書管理システムの更新に適切に対処できるようにする ②リサイクル図書の提供

(5) 司書・外部との連携

①地域図書館との連携により学習に必要な本を迅速に取り寄せる
②出版社の新着図書展示会参加 ③授業への円滑な対応（時間や資料の準備をより充実させる）

実践の評価

上記の(1)～(5)について、次のとおり評価した。

- (1) 令和6年度から学級文庫を設置したが、各クラスによって活用度に差があった。
(2) ①～③について、迅速に取り組めた。
(3) ①～③は達成できた。さらに図書委員を通じて、学級文庫を活用するよう促進する。
(4) ①ICT支援員と連携して対応している。②好評だった。
(5) ①地域図書館の活用は実施しなかった。自校のみで対応。②③は円滑に連携できた。

7	学校図書館利活用に関する成果目標	達成基準	達成状況
①	朝読書を中心に全校生徒の読書活動推進	全校生徒の平均貸出冊数6冊以上	7.2冊 (学級文庫含む)
②	授業や行事の事前学習における学校図書館活用の推進	全校で10回以上の活用	7回
③	放課後の自主学習の場としての活用推進	自主学習に取り組む生徒年間延べ1000人以上	約1,900名達成

8 学校図書館全体に関する自己評価

- 室内や書架の整頓はできている。本や季節に関わる展示物等の工夫もできた。
○生徒の図書館利用は、昼休みは課題だが、放課後は比較的多い。特に、試験前に学習に利用する生徒が多い。
○学校行事の事前学習では、学校への図書貸し出しも含め、全生徒が学校図書館を活用している。